



## アグリセーフティネットに関する 包括連携協定締結式

(7月19日)

旧JA なんすんエリアの沼津市・裾野市・長泉町・清水町の首長と、今年4月に統合した富士伊豆農業協同組合の組合長が出席し、6項目の農業リスクに対し連携して取り組むことを記した協定書に調印し、締結式を行いました。市では、既に認定農業者の農業経営収入保険への加入に対する補助金や、ウクライナ情勢に起因した肥料高騰対策などについて、JAと連携して進めることにしています。

## 黄瀬川で水生生物を観察

(7月23日)

親子水生生物調査が中央公園（黄瀬川）で開催されました。市内の児童・生徒とその保護者が24人参加し、5班に分かれ川に住む水生生物の採取と観察を行いました。当日は猛暑でしたが参加者はそれぞれに川へ入り、親子で楽しそうに生物採取をしていました。採取した生物はほとんどがきれいな川に住む生物と判明し、子どもたちは一安心の様子でした。

広報特派員：小林 辰夫



## 代表候補選手目指して好走

(7月23日)

12月に予定されている第23回静岡県市町対抗駅伝大会に向けて、第1回選手選考記録会が行われました。選手選考記録会は計3回行われます。小学生は1,500m、中学生～一般女子は3,000m、一般男子は5,000mを激走しました。9月下旬には代表候補選手が決まります。選手の皆さん、裾野市の元気力アップのためにがんばってください。

広報特派員：中村 隆司

## 富二幼稚園が放課後児童室へ

(7月25日)

富岡第二小学校の放課後児童室が呼子区公民館から、旧富岡第二幼稚園へ移転しました。令和4年3月末で閉園した幼稚園は小学校敷地に併設しているため、今後は児童の安全対策が充実します。幼稚園の施設はトイレや教室を2部屋改修しました。

富岡第二小学校放課後児童室は現在8人の児童が利用しています。





**将棋の楽しみ方を  
わかりやすく学びました**

(7月28日)

東西公民館で夏休み将棋教室が開催されました。日本将棋連盟沼津支部会長の中村六段を講師に、市内の小学生10人と市棋楽会メンバー5人が参加し、将棋の歴史や駒の名称、並べ方など学んだ後、5組に分かれて対局に臨みました。負けた子どもも3手前に駒のさし手を変えていれば逆転できていた点などを教えてもらい、楽しく将棋を学びました。この教室は8月も含め5回開催されました。 広報特派員：小林 建次

**図書館でなぞとときに集中**

(7月30日)

いろいろな場所に隠された謎を解いていくゲームイベントが図書館で開催されました。館内には隠されたなぞときポイントを探す親子連れが多数来館し、難しいなぞに真剣に取り組んでいる様子が見られました。

すべての謎の回答を提出すると、カウンターで賞品のガチャガチャのお楽しみもあり、夏休みの図書館イベントは静かに盛り上がっていました。



**みんなでコロナを  
乗り越えよう**

(7月30日・31日)

第19回身体障がい者野球大会ドリームカップが3年ぶりに運動公園野球場で開催されました。炎天下の下、5チームによって熱戦が繰り広げられました。必死のプレーで泥まみれ、土埃の中、関係者からは拍手がわき、互いに喜び合う姿が見られました。西村実行委員長から「みんなで手を取り、前に進みましょう、ありがとうございます。来年も会いましょう」とあいさつがありました。 広報特派員：杉本 武満



**夏休み一日図書館員**

(8月3日)

図書館でなつやすみこども一日図書館員が開催され、24人の参加者が図書館の施設見学やカウンター業務など、実際に図書館の仕事を体験しました。コロナ感染症対策として図書の消毒やふき取り作業なども行いました。

普段見ることのできない場所の見学などもあり、子どもたちは真剣に、職員の話聞いてました。





## ヘルシーパーク裾野がプレオープン（8月6日）

ヘルシーパーク裾野がプレオープンしました。10月のグランドオープンに向け準備期間中ですが、温泉施設のみ利用できます。サウナ、レストランやプール、送迎バスは営業していませんが、温泉再開を待ち望んだ市民の皆さんや観光で訪れた人々に温泉を楽しんでもらおうと、村田市長があいさつしました。

## 軽トラ市で採れたての野菜を販売（8月6日）

第1回軽トラ市が市役所庁舎前駐車場で開催されました。認定農業者協議会が、農産物の魅力を直接消費者に伝えようと開いたものです。生産者の軽トラックなどに朝摘んだばかりのナスやキュウリ、モロヘイヤなどが並べられると、来場者は手に取りながら、気に入った野菜を袋にいっぱいになるまで詰めていました。およそ1時間で用意した野菜のほとんどが売り切れとなりました。2回目の開催は12月を予定しています。



市民目線でお届けします

## 広報特派員レポート

### 放課後児童室の児童の作品113点を展示

子ども絵画展「アートフェスタ」に市放課後児童室(学童)の児童113人が出品しました。独創的なアイデアと鮮やかな色使いで、どの作品もすばらしい出来栄でした。同時に開催したモノ作り教室「木製フォトスタンド」も大好評で、富士山の形の木製スタンドに思い思いの絵を楽しそうに書いていました。



特派員



中村 隆司さん

平日は仕事があるため、土日メインに月に1~2回活動しています。風景、人物、スポーツ、草花、動物などジャンルにこだわらず取材しますが、子どもの笑顔を撮ることが一番楽しいですね。「広報すその見たよ」と声をかけられると最高にハッピーな気分になります。

コロナ禍でイベント開催が少ない状況ですが、都合のつく限りたくさん取材し裾野市民の笑顔を届けられるように頑張ります！



### 小中学生が自律型ロボットで競う (8月7日)

WRO JAPAN静岡県裾野地区公認予選会が生涯学習センターで開催されました。公認大会が市内で開催されるのは初めてで、多くの観客が見守る中、参加チームは自分たちがプログラミングした自律型ロボットで得点を競い合いました。

予選突破4チームは8月28日に浜松市で開催される全国決勝大会に進みます。

### 夏休み期間中も 幼稚園の預かり保育を実施 (7月～8月)

公立幼稚園では、4月から預かり保育の延長を試行的に行っています。平日の預かりは幼稚園降園後から16時30分まで、夏休み中は9時から16時30分まで保育をしています。就労や介護、家事都合などの理由で利用することができ、保育サービスのニーズに応える事業として今後の期待が高まります。



市民目線でお届けします

## 広報特派員レポート



### 脳の電気信号でロボットハンドの作動を体験 顔の認識は「人工知能」の方がすごい

夏休み体験講座「脳の知能と人工の知能」が東西公民館で開催されました。沼津高専制御情報工学科の宮下真信教授を講師に招き、市内の小学生8人が脳を活性化するための方法について、脳の模型や腕に貼ったセンサーの電気信号でロボットハンドを動かす実験をして、脳とコンピューターの情報処理方法の違いを学びました。

最後に、自分の夢(理想)に向かって挑戦することが、イキイキと生きるための秘訣ですと締めくくりました。



特派員

小林 建次さん

美しい富士の裾野に住む「すそのびと」の皆さんと写真を通じて裾野市と一緒に盛り上げたいと思っています。

誰もが知っている「祭り」や「風物」、まだ誰も気づいていない素敵な風景などをいち早く取材して、広報紙やSNSを使って皆さんの笑顔を発信します。